Steelwrist Japan株式会社

会社説明

【イノベーションで建設業界を再定義するスウェーデンの雄】 スチールリスト（Steelwrist AB）は、建設機械の効率を最大化させるためのソリューションを提供する、北欧スウェーデンを拠点とするグローバル企業です。2005年の創業以来、同社は「効率性」「安全性」「精度」という3つの柱を軸に、世界の建設現場に革命を起こし続けてきました。

【主力製品：チルトローテータとSQテクノロジー】 同社のフラッグシップ製品である「チルトローテータ」は、ショベルのバケットを360度回転させ、かつ左右に最大45度傾けることを可能にする装置です。これにより、従来は機械を何度も移動させなければならなかった複雑な掘削や整地作業が、一箇所に留まったまま自由自在に行えるようになります。この「手首のような動き」は、作業時間を最大30%短縮し、燃料消費量を大幅に削減することから、環境負荷低減（サステナビリティ）の観点でも高く評価されています。また、全自動油圧カプラ「SQシリーズ」は、オペレーターが運転席から一歩も降りることなく、数秒で油圧アタッチメントを交換できる技術であり、現場の事故リスクを劇的に低減させています。

【「Open-S」による業界標準の確立】 スチールリストは、メーカーの垣根を超えてアタッチメントの互換性を保証する世界基準「Open-S」の提唱者の一社です。特定のメーカーに縛られることなく、顧客が自由に最適なツールを選択できる環境を整えることで、業界全体の健全な発展とユーザー利益の最大化を目指しています。このオープンな姿勢こそが、「スチールリスト・ウェイ」と呼ばれる同社の企業文化を象徴しています。

【日本市場への本格展開と今後の展望】 日本においては、2022年に日本法人「Steelwrist Japan株式会社」を設立しました。日本の建設業界が直面している「労働力不足」や「生産性の向上」といった課題に対し、北欧の先進的なテクノロジーを導入することで解決策を提示しています。六本木を拠点に、国内全域での販売・サポート体制を強化しており、大手建機ディーラーやレンタル会社との提携を通じて、急速にその存在感を高めています。 同社は、単なる部品メーカーではなく、建設現場をよりスマートに、より安全に、そしてより持続可能な場所へと変える「パートナー」として、世界中のプロフェッショナルから信頼を寄せられています。

会社概要

本社所在地
スウェーデン

事業内容
建設機械（ショベルカー等）用アタッチメントの開発・製造・販売（チルトローテータ、クイックカプラ、油圧ワークツール、制御システム等）

代表取締役
グローバルCEO：Stefan Stockhaus（ステファン・ストックハウス）日本代表/カントリーマネージャー：五十嵐 卓次郎

設立年
2005年（スウェーデン本社）※日本法人は2022年設立

資本金
非公開（スウェーデン Terratech AB傘下）

従業員数
101 - 500人

オフィス情報

メインオフィス
〒3540044
埼玉県 入間郡三芳町 北永井318 - 1